

## 法学部法律学科 カリキュラムマップ

	A-2 現代社会とそこに至る過去を踏まえ、現代社会の実情を把握し、それと関連する法律やその基礎的な概念および理論を適切に認識することができる。	A-3 法学の中核をなす基礎的な概念および理論を理解し、現代社会における具体的な実情に向き合うことができる。	B-2 法学のより高度な概念および理論を現代社会の実情に適用・応用する過程およびその結果を明確に提示することができる。	B-3 法学の概念および理論を幅広く学び、それを実情に適用・応用するため、複数の視点から比較検討することができる。	C-2 変容する国内外や現代社会の諸現象に関する課題を理解し、自らその解決にむけて法学の概念および理論のみにとらわれない広い視野と批判的見地から検討をすることができる。	C-3 変容する国内外や現代社会の諸現象の課題を解決するため、あるべき社会を展望して新たな秩序を形成することへ、法学のみにとらわれない広い視野から能動的に参与することができる。	D-2 人権意識・憲法意識と倫理観を備え、公平・公正な観点から社会における多様性を受容し、現代社会の諸現象に敏感に反応するための成熟した資質を身に付けて行動することができる。	D-3 地域社会や国際社会を基礎づける多種多様な価値観に基づき、独立した個人として、自ら進んで学ぶ高い意欲を身に付けて、適切にかつ積極的に市民社会を担うことができる。	合計 (100%)
DP									
CP	法学全体の基礎およびその根幹をなす現代社会の実情を把握・認識する導入科目を1年次に配当し、それを前提として法学の中核となる専門的知識を理解するための基本科目を1~2年次に配置する。	法学の高度な知識を修得し、それを用いた法的思考・法的解釈を提示するための基本科目および専門演習(演習・実務関連科目)を2年次以降に配置し、国内外の社会の実情を理解し、法的思考・法的解釈を異なる視点から比較するための国際関係法・政治学科目を2年次から配置する。	法学の概念・理論を前提として、2~4年に国内の先端的な法的問題を理解・解決する力を身につける発展科目および専門演習(演習・実務関連科目)を配置し、この問題の理解・解決を諸外国の法制度や政治など幅広い見地から行うための国際関係法・政治学科目を2年次以降に配置する。	法学の概念および理論の社会における運用(実務など)を知るための応用法律学および実務科目(演習・実務関連科目)を配置し、さらに、実務という社会現象に多様性を理解したうえで応じる成熟した資質と国際的な障壁をいとおわずに他者と積極的に関わる力を身につけるための外国語に関する科目を配置する。					
ナンバリング	専攻								
LAW-int1-101	法律学習の基礎	70	30						100
LAW-int1-102	法学概論	60	40						100
LAW-int1-103	基礎演習	70	30						100
LAW-bas1-104	<small>単位(総論・経済機構)(日本国憲法2単位を含む)</small>	60	40						100
LAW-bas2-201	<small>単位(憲法的人権)(日本国憲法2単位を含む)</small>	60	40						100
LAW-bas2-202	行政法総論			60	40				100
LAW-bas3-301	行政救済法			40	60				100
LAW-bas2-203	刑法I(総論)	60	40						100
LAW-bas2-204	刑法II(各論)	60	40						100
LAW-bas2-302	刑事手続法(刑事訴訟法)	30	70						100
LAW-bas3-303	刑事政策			60	40				100
LAW-bas1-105	民法(総則)	70	30						100
LAW-bas2-205	民法(物権)	70	30						100
LAW-bas2-206	民法(債権総論)	70	30						100
LAW-bas2-207	民法(契約法)	70	30						100
LAW-bas2-208	民法(親族・相続)	70	30						100
LAW-bas2-209	民法(不法行為等)	70	30						100
LAW-bas2-210	会社法I(企業組織法)	60	40						100
LAW-bas2-211	会社法II(企業金融法)	60	40						100
LAW-bas2-212	民事手続法I(判決手続)	30	70						100
LAW-bas3-304	法哲学I			30	70				100
LAW-bas3-305	法哲学II			70	30				100
LAW-bas3-306	法制史I			30	70				100
LAW-bas3-307	法制史II			30	70				100
LAW-bas3-308	法社会学I			60	40				100
LAW-bas3-309	法社会学II			40	60				100
LAW-bas2-213	政治学原論I	60	40						100
LAW-bas2-214	政治学原論II	40	60						100
LAW-bas3-310	行政学			60	40				100
LAW-bas3-311	地方自治論			60	40				100
LAW-bas2-215	国際法	60	40						100
LAW-exp2-216	雇用関係法I			70	30				100
LAW-exp2-217	雇用関係法II			70	30				100
LAW-exp3-312	労使関係法			70	30				100
LAW-exp2-218	経済法					40	60		100
LAW-exp2-219	企業取引法I(商法総則)			60	40				100
LAW-exp2-220	企業取引法II(商取引法)			60	40				100
LAW-exp3-313	企業取引法III(保険法・海商法)			60	40				100
LAW-exp3-314	金融法I(企業決済法)			60	40				100
LAW-exp3-315	金融法II(金融商品取引法)			60	40				100
LAW-exp2-221	民事手続法II(民事執行・保全法)			60	40				100
LAW-exp3-316	民事手続法III(倒産処理法)					70	30		100
LAW-exp2-222	知的財産法(概論)					70	30		100
LAW-exp3-317	知的財産法(応用)					70	30		100
ILA-exp1-106	国際ビジネスの法と交渉			70	30				100
ILA-exp2-318	国際私法I(総論・家族法)			70	30				100
ILA-exp3-319	国際私法II(財産法)			70	30				100
ILA-exp2-320	国際取引法			60	40				100
ILA-exp3-321	国際民事手続法			60	40				100
LAW-exp3-322	社会保障法			70	30				100
LAW-exp3-323	地方自治と法			40	60				100
LAW-exp3-223	租税法			60	40				100
LAW-exp3-324	租税手続法			40	60				100
LAW-exp3-224	少年法					70	30		100
LAW-exp3-325	特別刑法			60	40				100
ILA-in12-326	国際人権法			80	20				100
ILA-in12-327	国際環境法					60	40		100
ILA-in12-328	海洋法			60	40				100
ILA-in12-225	外国法政I					30	70		100
ILA-in12-226	外国法政II					30	70		100
ILA-in12-227	外国法政III					30	70		100
ILA-in12-228	外国法政IV					30	70		100
ILA-in13-329	国際組織法			40	60				100
ILA-in13-330	国際経済法					60	40		100
ILA-in13-331	国際紛争解決法					60	40		100
ILA-in13-332	宇宙法					60	40		100
LAW-in13-333	国際知的財産法					70	30		100
ILA-in13-334	国際商事仲裁			30	70				100
ILA-in13-335	EU法					60	40		100
ILA-in12-229	International Law			40	60				100
ILA-in12-336	Advanced International Law					60	40		100
ILA-in12-230	国際関係史					70	30		100
ILA-in12-231	国際政治学			30	70				100
ILA-in12-232	政治理論			60	40				100
ILA-in12-233	政治史I			70	30				100
ILA-in12-234	政治史II			70	30				100

	D P	A-2 現代社会とそこに至る過去を踏まえ、現代社会の実情を把握し、それと関連する法律やその基礎的な概念および理論を適切に認識することができる。	A-3 法学の中核をなす基礎的な概念および理論を理解し、現代社会における具体的な実情に向き合える	B-2 法学のより高度な概念および理論を現代社会の実情に適用・応用する過程およびその結果を明確に提示することができる。	B-3 法学の概念および理論を幅広く学び、それらを現代社会の実情に適用・応用するため、複数の視点から比較検討することができる。	C-2 変容する国内外や現代社会の諸現象に関する課題を理解し、自らその解決にむけて法学の概念および理論のみにとらわれない広い視野と批判的見地から検討することができる。	C-3 変容する国内外や現代社会の諸現象の課題を解決するため、あるべき社会を展望して新たな秩序を形成することへ、法学のみにとらわれない広い視野から能動的に参画することができる。	D-2 人権意識・遵法意識と倫理観を備え、公平・公正な観点から社会における多様性を受容し、現代社会の諸現象に敏感に反応するための成熟した資質を身に付けて、行動することができる。	D-3 地域社会や国際社会を基礎づける多種多様な価値観に基づき、独立した個人として、自ら進んで学ぶ高い意欲を身に付けて、適切にかつ積極的に市民社会を担うことができる。	合計 (100%)
	C P	法学全体の基礎およびその根幹をなす現代社会の実情を把握・認識する導入科目を1年次に配当し、それを前提として法学の中核となる専門的知識を理解するための基本科目を1～2年次に配置する。		法学の高度な知識を修得し、それを用いた法的思考・法的解釈を提示するための基本科目および専門演習（演習・実務関連科目）を2年次に以降に配置し、国内外の社会の実情を理解し、法的思考・法的解釈を異なる視点から比較するための国際関係法・政治学科目を2年次から配置する。		法学の概念・理論を前提として、2～4年に国内の先端的な法的問題を理解・解決する力を身につける発展科目および専門演習（演習・実務関連科目）を配置し、この問題の理解・解決を諸外国の法制度や政治など幅広い見地から行うための国際関係法・政治学科目を2年次以降に配置する。		法学の概念および理論の社会における運用（実務など）を知るための応用法律学および実務科目（演習・実務関連科目）を配置し、さらに、実務という社会現象に多様性を理解し、解決しようとする成熟した資質と国際的な障壁をいとわずに他者と積極的に関わる力を身につけるための外国語に関する科目を配置する。		
ILA-in12-235	日本政治論			60	40					100
ILA-in12-236	比較政治学					30	70			100
ILA-in12-237	地域研究I	70		30						100
ILA-in12-238	地域研究II					70	30			100
ILA-in12-239	地域研究III					70	30			100
ILA-in12-240	社会科学総合講座					30	70			100
ILA-in13-337	現代政治思想					70	30			100
ILA-in13-338	政治思想史			60	40					100
ILA-in12-241	国際協力論					70	30			100
ILA-in12-242	国際開発論					30	70			100
LAW-sem2-243	専門演習I					30	70			100
LAW-sem3-339	専門演習II					30	70			100
LAW-sem4-401	専門演習III					30	70			100
LAW-sem4-402	特別専門演習									100
ILA-sem1-107	英書講読I							30	70	100
ILA-sem1-108	英書講読II							60	40	100
ILA-sem2-244	専門外国語ⅠA							70	30	100
ILA-sem2-245	専門外国語ⅠB							40	60	100
ILA-sem2-246	専門外国語ⅡA							40	60	100
ILA-sem2-247	専門外国語ⅡB							40	60	100
ILA-sem2-248	専門外国語ⅢA							40	60	100
ILA-sem2-249	専門外国語ⅢB							40	60	100
LAW-sem2-250	表現技法の基礎							60	40	100
LAW-sem1-109	Problem Solving Skills for Global IssuesⅠ	70		30						100
LAW-sem1-110	Problem Solving Skills for Global IssuesⅡ	30		70						100
LAW-sem2-251	行政実務から見た法学							60	40	100
LAW-sem2-252	ビジネス実務から見た法学							60	40	100
ILA-sem2-340	応用法律学（憲法）							60	40	100
LAW-sem2-403	応用法律学（憲法）							60	40	100
LAW-sem3-404	応用法律学（行政法）							60	40	100
LAW-sem2-405	応用法律学（刑法）							60	40	100
LAW-sem3-406	応用法律学（刑事訴訟法）							60	40	100
LAW-sem2-407	応用法律学（民法）							60	40	100
LAW-sem2-408	応用法律学（商法）							60	40	100
LAW-sem3-409	応用法律学（民事訴訟法）							60	40	100
ECO-opt1-253	マクロ経済学Ⅰ	70		30						100
ECO-opt2-341	マクロ経済学Ⅱ			30	70					100
ECO-opt1-254	ミクロ経済学Ⅰ	70		30						100
ECO-opt2-342	ミクロ経済学Ⅱ			30	70					100
IEC-opt2-343	国際経済学	70		30						100
ECO-opt3-344	西洋経済史	70		30						100
ECO-opt3-345	日本経済史	70		30						100
ECO-opt3-346	日本経済論	70		30						100
IEC-opt2-347	世界経済論	70		30						100
ECO-opt3-348	財政学			30	70					100
IEC-opt3-349	国際金融論			30	70					100
COM-opt2-255	保険史			80	20					100
TEA-opt2-256	日本史A	60		40						100
TEA-opt2-257	日本史B	60		40						100
TEA-opt2-258	外国史A	60		40						100
TEA-opt2-259	外国史B	60		40						100
INC-opt2-260	ヨーロッパ史A	70						15	15	100
INC-opt2-261	ヨーロッパ史B	70						15	15	100
INC-opt2-262	日本文化史A			70				15	15	100
INC-opt2-263	日本文化史B			70				15	15	100
INC-opt2-264	中国・アジア文化史A			70				15	15	100
INC-opt2-265	中国・アジア文化史B			70				15	15	100
INC-opt2-266	ヨーロッパ・地中海文化史A			70				15	15	100
INC-opt2-267	ヨーロッパ・地中海文化史B			70				15	15	100
INC-opt2-268	アメリカ・太平洋文化史A			70				15	15	100
INC-opt2-269	アメリカ・太平洋文化史B			70				15	15	100
INC-opt2-270	表象文化史A			70				15	15	100
INC-opt2-271	表象文化史B			70				15	15	100
INC-opt2-272	芸術文化史A			70				15	15	100
INC-opt2-273	芸術文化史B			70				15	15	100
INC-opt2-274	現代哲学思想A	70						15	15	100
INC-opt2-275	現代哲学思想B	70						15	15	100
INC-opt2-276	宗教学A	70						15	15	100
INC-opt2-277	宗教学B	70						15	15	100
TEA-opt2-278	人文地理学A	70						15	15	100
TEA-opt2-279	人文地理学B	70						15	15	100
TEA-opt2-280	自然地理学A	70						15	15	100
TEA-opt2-281	自然地理学B	70						15	15	100
TEA-opt2-282	地誌学A	70						15	15	100
TEA-opt2-283	地誌学B	70						15	15	100
	最高値	70		80		70		70		70
	合計	2870	2190	2520	2100	1400	1300	1420	1300	15100
	比重(%)	19.00662252	14.50331126	16.68874172	13.90728477	9.271523179	8.609271523	9.40397351	8.609271523	